



AMX-86 観音もじりのストール

デザイナー / 辻澤由紀

2020 A/W

●使用織り機…オリヴィエ〈織美絵〉

●使用糸

使用糸 〈リッチモア手あみ糸〉	色番	色	オリヴィエ〈織美絵〉 使用量
カシミヤ	No.105	①(ライトグレー)	3玉
	No.123	②(ピンク)	1.8玉

●使用ヘドル…40羽 (2本どり27本/10cm)

●その他の道具…予備のシャトル1本

●ヨコ糸密度…◎部分：約14段/10cm

●織り上がり寸法…長さ140cm、幅22cm (フサの長さ含まず)

●作り方

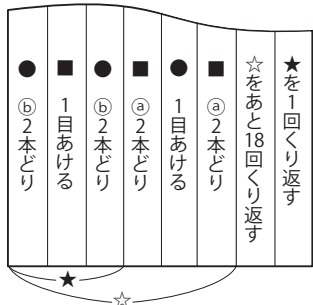
1 タテ糸を配色どおり張る。

タテ糸の本数…①2本どり×38本、②2本どり×40本 (合計156本)

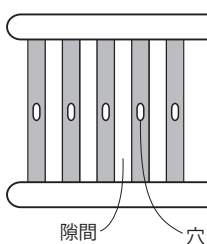
ヘドル通し幅…29.5cm

タテ糸の長さ…205cm

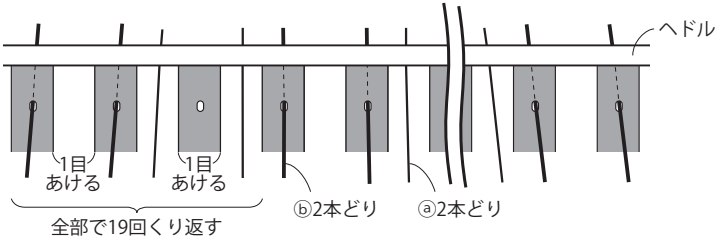
〈タテ糸配色〉 ●…ヘドル穴部分
■…ヘドル隙間部分



〈ヘドル名称〉

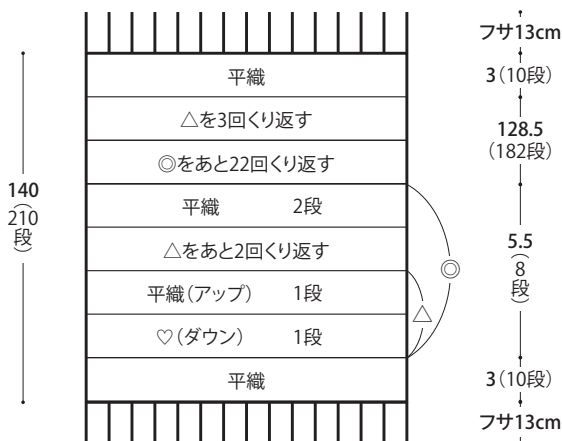


〈タテ糸の通し方〉



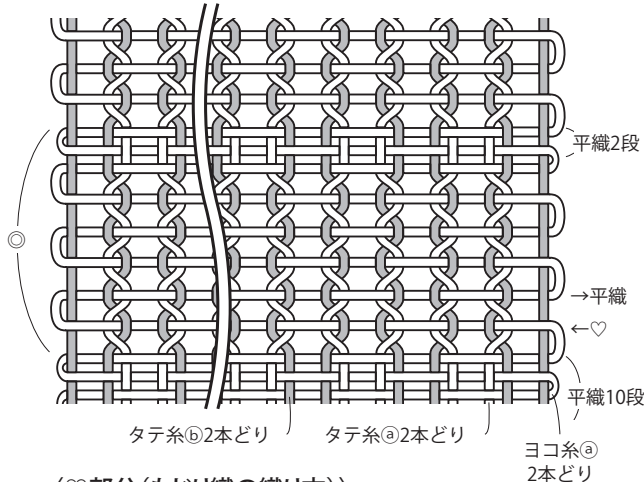
2 ヨコ糸を◎2本どりで、1段めはダウンポジションで右側から糸を入れて織り始める。♡部分は〈もじり織の織り方〉を参照して織る。

〈ヨコ糸配色〉



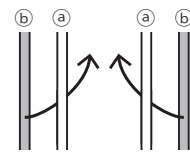
表記の寸法は織り上がり寸法です。
織っている最中は、糸が引っ張られた状態です。
織り機からはずすと約10%織り地が縮みます。
織るときは縮み分を考慮し、
打ち込みの力加減と織る長さを調整しましょう。
※縮み分は糸の種類や模様によって変わります。

〈ヨコ糸デザイン図〉

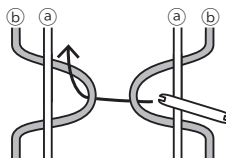


〈♡部分(もじり織の織り方)〉

- ①ヘドルをダウンポジションに置く。
- ②タテ糸の①と①の間からタテ糸左側の②1本、右側の②1本を①の下を通して上に持ち上げる。

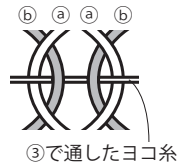


③矢印の位置にシャトルを通す。



④ヘドルをレストポジションに置き、通したシャトルを起こす。
できたすき間にヨコ糸を通す。

⑤③で通したシャトルを利用して打ち込む。



3 フサを始末する。4本1組で巻き結びし、13cm丈に切りそろえる。

〈巻き結び〉

